

# まい 埋やちよ

No. 5

千葉県八千代市  
埋蔵文化財通信  
1999. 5. 21  
(平成11年)

## 平成10年度をふりかえって

平成10年度の埋蔵文化財事業について簡単に振り返ってみたいと思います。

### 【発掘調査】

まずは、旧石器時代から奈良平安時代の複合遺跡として3年間調査されてきた、保品(ほしな)の上谷(かや)遺跡の調査がついに終了しました。各時代とも大きな成果をあげましたが、特に奈良平安時代に関しては多数の竪穴住居跡、掘立柱建物跡を調査することができました。来年度以降、整理作業に着手しますので、より詳しい内容が明らかになるでしょう。

縄文時代の遺跡としては、吉橋(よしはし)の内野南(うちのみな)遺跡a地点で炉穴5基を、b地点で落とし穴1基を調査しました。また萱田(かやた)町の川崎山(かわさきやま)遺跡g地点では落とし穴4基を調査しました。

古墳時代としては、市指定文化財である村上の根上神社古墳(ねのかみじんじゃこふん)に隣接する白筋(しろすぢ)遺跡の調査を行いました。古墳周溝の可能性のある溝の一部を検出しましたが、断定はできませんでした。出土遺物は少量でした。

奈良・平安時代の遺跡では、さきほどふれた上谷遺跡の他に、白筋遺跡において竪穴住居跡を1軒、川崎山遺跡f地点で2軒の調査がされました。この2例についてはいずれも斜面地で竪穴住居が検

出され、住居の立地条件を考えるうえで興味深い成果でした。また内野南遺跡a地点でも竪穴住居跡1軒が調査されています。

この他に、確認調査で吉橋の西内野(にしうちの)遺跡において縄文時代の遺跡の所在と、保品の郷(ごう)遺跡において、奈良平安時代の集落の存在を捉えることができました。

### 【整理事業】

大和田新田に所在する縄文時代前期の集落跡であるライノ作南遺跡の整理作業と、保品に所在する縄文時代から奈良平安時代の複合遺跡である、おおびた遺跡の整理作業に着手し、発掘調査報告書刊行まであとわずかとなりました。

### 【啓発事業】

平成10年度は上谷遺跡を大々的に取り上げました。5月に上谷出土の人面土器をNHKニュース・各新聞・市広報に発表し、歴史民俗資料館で実物を展示しました。また、わいわいTVの市政ロータリーでも取り上げ、国立歴史民俗博物館の平川南教授にコメントしていただきました。11月には遺跡見学会を行い、1月には千葉県遺跡発表会で報告しました。多くの方々に上谷遺跡の重要性を感じただけなことと思います。

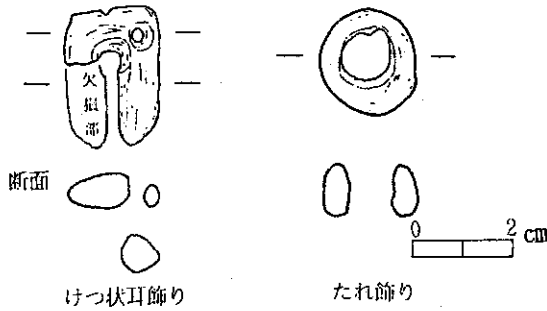
(宮澤 久史)

## 遺物紹介 2つの青い装飾品

—整理作業を

つうじて②—

ヲイノ作南遺跡では表題のように2種類の装飾品が出土しました。1つは「けつ状耳飾り」といって長方形の中央から一端に切れ目の入ったもの、もう一つは環状の「たれ飾り」です。材質は耳飾り



がヒスイ、たれ飾りが蛇紋岩(じゃもんがん)という石です。いずれも青緑色をしています。当時、この青や緑系の色彩は珍重されていたようです。特にヒスイは新潟県糸魚川流域にしか産出しない石で、稀少なものです。

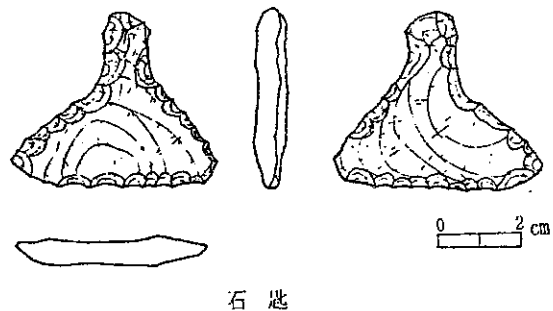
両方とも硬い石ですので、穴を開けること(穿孔せんにう)は容易なことではなかったに違いありません。身を飾るためだけでなく、もっと違った意味合いがあることも想像できます。例えば、男女の区別であったり、自分の身を守ってくれる護符(ふ)のような役割であったかもしれ

ません。さらには稀少な石いわば宝石であるということから、立場の異なる、選ばれた人間のみが飾ることのできたものということも考えられます。

それでは耳飾り、たれ飾りの細部を見ていきましょう。耳飾りは、左側が欠けています。表面はややざらついており、半透明の青緑色をしています。上端中央には、V字形に刻みが入っています。中央は、丸くえぐられています。この部分に装着される訳です(挿絵参照)。右上方に丸く穿孔されています。

たれ飾りは、ペンダントの先端か耳飾りの一部であったものと想像できます。表面はつるつるでやや光沢があります。

これらの出土状態は、耳飾りは住居の覆土(ふくど=埋まった土)中からで、破損品として捨てたものか、意図的に置き去りにしたと想定できます。たれ飾りは住居の貯蔵穴からで、石匙(いしじ)という携帯用ナイフと一緒に意図して埋めた状態で出土しました。何らかの精神生活上の意識がこめられていたのでしょう。



小林達雄「日本のあけぼの③  
縄文のかたちとところ」  
(1989年 毎日新聞社)  
から転載

たった2つの装飾品からいろいろなことが想像できます。機会がありましたらまた物言わぬ遺物に多くを語ってもらいたいと思います。  
(森 竜哉)

## 追分塚と大日様

やや古い話ですが、平成7年、墓地造成に伴い八千代市島田台字追分(おゆび) (旧桑橋村追分) に所在する追分塚の調査を行いました。塚の規模は、東西約21.4 m、南北約21.5m、高さ約2.5 mの方形で、調査の結果、この塚は江戸時代の中頃に築かれた旧桑橋(そうし) 村の三山塚(さんざんか)であることがわかりました。三山塚とは、出羽(でわ)三山信仰に関連した塚のことをいいます。出羽三山とはかつて出羽国といわれた山形県にある、月山(がっさん)、湯殿山(ゆどのさん)、羽黒山(はぐろん)の三山のことです。この三山は、平安時代から修験道(しゆげんどう)の山として知られ、江戸時代になってから民衆の信仰の対象となりました。男なら一生に一度は三山参りに行くものであり、行った人は死ぬと神になるとまで言われ、現在でも多くの人がこの三山を参拝しています。

出羽三山に参拝して帰ってくると、通常塚の上に三山の名を刻んだ参拝記念碑を建てます(塚ではなく平地に建てられることもあります)。また江戸時代、湯殿山の本尊は大日如来(だいにちにょらい)であったことから大日如来像が三山塚に祀られていることもよくあります。八千代市内

においても島田や小池など日蓮宗の檀家になっている地域を除き江戸時代から出羽三山信仰は盛んで、各集落ごとに1カ所は必ずこのような出羽三山の参拝記念碑が建てられている場所があります。

追分塚の上には、お堂の中に「下総桑橋村講中」「宝暦十三癸未(1763年)十月吉日」の銘がある大日如来像が祀られていました。この像は江戸時代から「大日様」として仰がれ、桑橋の人々の暮らしを見守り続けてきたそうです。またお堂の周りには大正2年、昭和11年、昭和24年銘の出羽三山の参拝記念碑が3基建てられていました。地元の話によると、昔はこのほかにもたくさんの参拝記念碑や石碑が塚の上に建てられていたそうです。

ところで桑橋の檀那寺(だんなでら)は安養院(あんやういん)、産土様(うぶなま)は熊野神社であり、この追分塚はちょうどその中間に位置していました。桑橋では昭和40年頃まで、毎年9月1日の熊野神社の祭礼の日には獅子舞が舞われていました。獅子舞が舞われたのは熊野神社、安養院、区長宅、そして大日如来像が祀られているこの追分塚の前でした。「安養院霊山



追分塚



大日如来像

(次項へつづく)

縁起」によると、熊野神社、安養院、そして追分塚に大日如来像を祀ることは、紀州の熊野三山、東北の出羽三山にならうものであるということだそうで、この塚が霊山として信仰を集めていたようです。天保14(1843年)に描かれた旧桑橋村の地図である「桑橋村村絵図」にも安養院、熊野神社とともに、塚の上に大日如来像を安置したお堂が描かれています。

このことから追分塚が桑橋の人々にとって神社や寺とともに重要な信仰の場であったことがうかがえます。

現在、塚は墓地造成のため削平されて残ってはいません。しかし、大日如来像とお堂は塚があった場所に平成9年に新しく造立され、今でも桑橋の人々の暮らしを見守り続けています。

(武藤 健一)

## 都合のいい土器

八千代は墨書の  
まらだから...

その昔、ういういしい大学1年生が発掘現場で一生懸命仕事をしていました。そこへベテランの調査員氏がやって来て言いました。「がんばって掘ってね。そのうち『平安時代』って書かれた土器が出てくるからね。」これを聞いて1年生真剣に「ええっ、本当ですか!」、調査員氏「ウソだよ。そんなこと書いてあったら苦労しないよ。」そう言って飄然と立ち去って行きましたとき。

日本の考古学において土器は時間の物差しとして使われます。土器は時間とともに文様や器形、焼き方などが確実に変化するからです。先学達の地道な努力の積み重ねによって、精密な「土器編年表」ができあがっています。しかし、これを覚えるのがまた一苦労なのです。つい

時代名や年月がはっきり書かれていればなあ、なんて思ってしまいます。

ところがあるのです。年代の書かれた土器が。しかも八千代市内の出土品に。

弘仁十二年十二月



ともに平安時代初期の年号が墨で書かれています。1は「弘仁十二年十二月」(西暦 821年)上谷遺跡出土、2は「承和五年二月十」(838年)北海道遺跡出土です。こんな好都合の土器は例が少なく貴重なものです。(常松 成人)

### 編集後記

昨年度をもって上谷遺跡の大規模調査が終了しました。昭和60年代から続いてきた、八千代市における「大規模調査時代」が終わったと言ってよいでしょう。しかしそれらの本整理はこれからです。今年度も忙しくなりそうです。

埋(まい)やちよ No.5

—千葉県八千代市埋蔵文化財通信—  
平成11年5月21日発行

編集・発行 八千代市教育委員会 生涯学習部  
社会教育課 文化財係  
八千代市大和田138-2  
☎276-0045 ☎047(483)1151 (代表)